



2020 年 12 月 1 日

「人生 100 年時代」における新たなビジネス展開に向けた 三井住友信託銀行との協業について

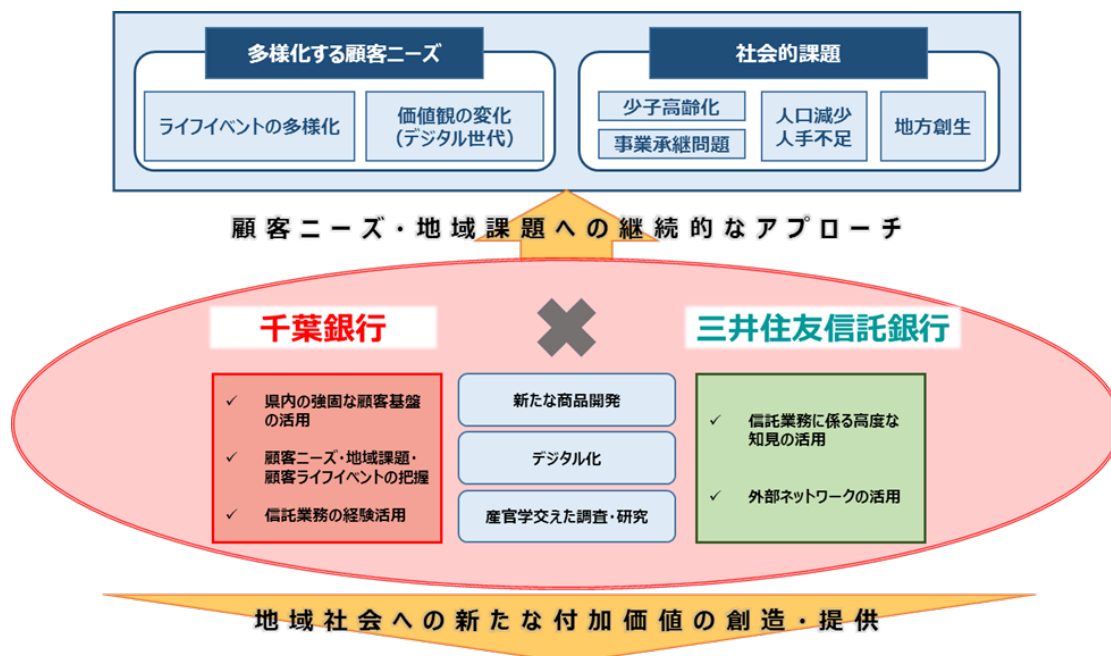
千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、「人生 100 年時代」における新たなビジネス展開に向け、2020 年 9 月 1 日（火）より、高齢者向け商品・サービスの分野で知見のある三井住友信託銀行株式会社（取締役社長 橋本 勝）と協業を開始しました。

この協業では、長寿社会において高齢者が抱える経済面、生活面、健康面などのさまざまな問題を掘り下げ、信託機能を活用したソリューションの提供、相続事務の効率化、新商品・サービスの開発などを目指していきます。なお、協業の開始にあたり、「高齢社会商品開発・顧客対応研究会」と「相続事務研究会」の 2 つの研究会を立ち上げています。

この協業の成果のひとつとして、当行は「ちばぎん財産管理信託～家族で安心みまもり信託～」を開発し、2020 年 12 月 1 日（火）より取扱いを開始します。本商品は、高齢者が抱える認知能力や判断能力の低下リスクなどに対応し、家族と銀行が一体となって高齢者の財産管理をサポートする仕組みの信託商品です。

両行は、この協業をつうじて、多様化する高齢者のニーズや社会課題の解決に向けた取組みを一層推進していくとともに、地域社会への新たな付加価値を創造してまいります。

<協業のイメージ図>



以 上